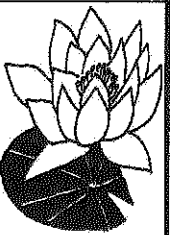


議会報告

みんなの秩父

発行
日本共産党
秩父市議団



六月定例議会報告

日本共産党 秩父市議団

六月議会定例会は6月7日から6月27日までの21日間の会期で開かれました。議案は専決処分3件、指定管理者の指定期間の変更及び指定管理者の指定1件、条例の一部改正2件、29年度補正予算1件、工事請負契約の締結1件、人事案件13件等市長提出議案が21件、議員提出議案が1件の計22議案でした。また、埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙も行われました。

議事の主なものと一般質問の内容(要旨)についてお知らせいたします。

大滝地域に関連する大きな2議案

こまどり荘の管理者変更と旧中学校改築工事契約

こまどりの荘の指定管理者変更

従来大滝こまどりは、源流郷におたきを指定管理者として指定し運営してきましたが、平成32年3月31日までとされてきた指定期間を29年6月30日までと変更し、7月1日から残余期間を、新たに公募により選考した(株)ヒーリングスペースを新たな指定管理者として指定する内容です。

変更の経緯については、かねてより源流郷におたきから、指定を辞退したい意向が示されており、そのため本年2月7日より約1ヶ月の間公募受付、

(株)ヒーリングスペース1社

のみ応募があり、3月22日庁内会議で採用を決定したもので、採用決定の動機は、隣接する魚釣り場経営の実績を有して居り、提出された事業計画書により、積極的誘客対策が評価され、更なる効率化及びサービス向上を期待できること、などがあげられました。

(株)ヒーリングスペースは、3月1日設立の新しい会社ですが、前述のように地元で根付いた実績を持つこと等から、信頼に値すると評価したとのことでした。

旧大滝中学校改修工事請負契約

旧大滝中学校の改修については、かねてより集落活性化推進事業費の補助対象工事として計画が進められてきました。補助割合は補助対象工事費の2分の1以内です。

工事の内容については、旧大滝中学校を総合支所、及び公民館に用途変更する改修工事と、エレベーター1基を新設する工事となっています。

工事契約については4月13日に一般競争入札を行い、5月12日開札の結果左記の通り決定しました。

請負業者 守屋八潮・黒澤特定
 工事建設工事共同企業体
 請負金額 3億4千290万円
 設計金額 3億7千260万円
 請負比率(落札率) 92.03%
 工期 平成30年2月28日

今後については、国保診療所の移転を望む声が多く寄せられています。これについては補助金の縛りがかかっており、3、4年の経過が必要であり、検討を進めています。

また、ATMの設置を望む声も多く、金融機関との折衝・調整を進めています。

現在の総合支所・公民館については、耐震強度が、基準値を大きく下回っていることから、竣工・移転完了後速やかに解体する方向で進める予定となっています。

供託金制度の見直しを求める

今議会には「国政・地方選挙における供託金制度の見直しを求める意見書」が無党派議員から提出されました。内容は、

国政選挙の供託金は、選挙区で300万円・比例区では600万円

で、世界で最も高い。

立候補の自由に関して選挙権の行使と裏表の関係で、憲法44条は「社会的身分、門地、教育、財産または収入によつて差別してはならない」と書かれている。選挙への立候補にきわめて高額な供託金を必要とする制度は憲法の理念に反し、高額な費

日本共産党市議団

意見書賛成討論(要旨)

今、全国で地方議会議員の立候補者の減少が叫ばれ、住民総会を採用する動き等も生まれています。その背景の一つとして供託金問題をはじめとする選挙制度があるのではないのでしょうか。であるから

こそ2009年には高すぎる供託金の額と没収点を引き下げた(その案が衆議院で可決された)その後参議院で可決されないうまま衆議院が解散となり廃案)のではないのでしょうか。そしてその後その可決を覆すような具体的・客観的情勢の変化は特に無

用を用意できるもの以外の立候補の自由を奪いかねない。

わが国では、去る平成28年6月、若い人々の政治参加を拡大、保障するため、選挙権年齢を18歳以上に引き下げ、主権者教育も行われるようになっていく。

主権者は、選挙への投票だけでなく、立候補を含めたさまざまな主権を行使する主体であり、その主権行使を阻害する可能性のある制度は検討しなす必要がある。として

一、より広い市民の政治参加を促進するため、供託金制度を見直すこと。

を求めたものとなっています。

いと考えられることから、反対理由は無いと思われれます。また、国連の第35回国際人権理事会への報告書によれば、報道機関に対する政府の圧力や特定秘密保護法の問題などとともに、選挙運動に対する規制についても1項目を設け「公職選挙法を国際人権法に適合するよう見直すこと」を勧告しています。つまり公職選挙法は国際人権法に適合していないと指摘しています。

「有権者全般の政治参加を萎縮させる」ものの一つとして供託金問題が存在するところから、供託金問題の見直しを求めること意見書は採択すべきであると考えます。

※ 議会報告「みんなの秩父」の発行費用の一部に政務活動費を使用しています。



斎藤かつし議員の一般質問

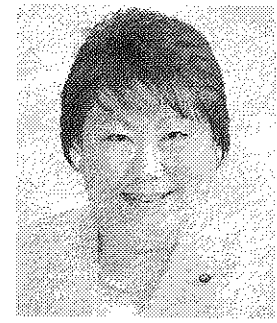
国保の広域化シミュレーション

県の第2回シミュレーションは、市から県への納付額、被保険者一人当たりの標準保険税額は、どう示されたのか聞きました。秩父市の一人当たり保険税額試算は12万7736円、増加率は17.79%と、昨年12月の第1回シミュレーション時より高く示された。また市から県への納付額試算は20億1390万5637円で増加率は99.15%となっている。このことでした。私は県への納付金額は減少しているのに、個人税額が増大しているのはなぜか、また、県の運営方針原案の内容について再質問しました。答弁では27年度決算額に、国の算定基準による補正が加えられたことから矛盾が発生した。そのことを含め、今後各市町村からの意見聴取、パブリックコメントなども経て、県運営方針を確定していく予定となっているとのことでした。

ために力を尽くしてまいります。

学校での「着衣水泳」指導

宮城県東松島市の野蒜小学校の体育館は、その時、洗濯機の様だったと言う。大きな揺れの後、体育館には児童や住民ら300人ほどが避難していた。そこを津波が襲ったのだ。ピアノも人も津波が生んだ渦にのまれた。3人の子とともに避難していたお母さんは、死を覚悟した。だが12歳の長女の姿を見て、われに返った。まるでラッコのように、巧みに水面に浮かんでいたのである。(4.28日付東京新聞)と言う記事を紹介しながら、水泳指導は水難から身を守ることが本来であるという考えから着衣水泳について質問しました。



出浦あきえ議員の一般質問

答弁は、各学年を通じて、発達段階に即した指導を行っているが、現状の年1回で充分とは思えない、さらに研究を深めて指導内容の充実を図って行きたいと考えている。とのことでした。私は、50メートルを何秒で泳げるかよりもむしろ水難から命を守る着衣泳こそ大事であり更なる充実をお願いしました。

産科設置の考えは

岩田医院のご苦勞には大変感謝しているが、将来の秩父市の子どもを増やすため環境整備をする必要がある。改めてもう一医院産科を設置するための努力をすべきではないかと市長の考え方について質問しました。

市長は答弁で「私は可能な限りの努力はしてきたが、正直言って産科の設置は非常に困難である」とした上で、あるうことか「あなた自身はこの問題について何をしてきたかのか。」と逆質問をするなどし、開き直りました。

病中・病後児保育はできず

これまでの経緯を見ると、この事業についての市長の考え・発言はその都度変わり、実現しかけていたものが白紙撤回されたりしてきている。そのことについて市職員と一緒に実現に向けて協議・研究してきた民間医療機関へのお詫びの言葉すらない。市長の責任は大きいのではないかとその姿勢について質問しました。

市長は、自身の発言が変わっていったことを認めませんでした。その上で「公的色彩が強いものは医師会を通じてやっていくべきと考えている。」という答弁に終始しました。必要性を認め、市民の要求に早急に応える決断が求められる所から引き続き訴えてまいります。

今議会を終え感じたことは、国会での安倍首相の傲り・昂る姿勢の縮小版を見る思いです。意に反する意見にも耳を傾ける謙虚な姿勢こそが、今求められているのではないのでしょうか。

秩父市の教育行政

貧困世帯の子どもの学習支援の取り組み状況を質問しました。答弁は、生活保護世帯を含む生活困窮世帯の中学生・高校生とその保護者を対象に家庭訪問による教育相談や学習指導、学習教室の開催、進路指導、就労体験などを民間事業者へ委託して実施。スタッフは社会福祉士や教員免許などの資格を有する学習支援員や学習指導員をはじめ、元教員や大学生などのボランティアに協力してもらい実施している。とのことでした。

その他、教員の多忙化の現状。介護保険法改正による市民への影響について質問しました。



山中すすむ議員の一般質問

今回は、一般質問をお休みしました。今6月議会は当局から大滝地域について二議案提案されました。内容をお知らせします。

地域活性化と住民が集える支所・公民館機能を併せ持った拠点づくり

旧大滝中学校改修工事請負契約大滝地域の将来を担う施設づくりとして、旧大滝中学校を改築し住民の皆さんが安心して利用できる支所と公民館機能を併設し、利便性向上のためにエレベーターを設置、市業務窓口のための支所機能などの改修を行い、地域の拠点とするための工事請負契約が締結されました。

こまどり荘の指定管理者の移行

宿泊施設として「源流郷おたき」が管理運営してきたこまどり荘は、この7月1日より(株)ヒールリングスペースが指定管理者に変更となり営業が開始されることになりました。地域の活性化を図り、広大な自然の中で地域まるごと活用できる拠点施設として期待したいと思えます。

日本共産党秩父市議会議員 生活相談はお気軽に 斎藤捷栄 (さいとう かつしげ) TEL (24) 3712 出浦章恵 (いでうら あきえ) TEL (23) 5515 山中 進 (やまなかすすむ) TEL (56) 0050 ※ 必要に応じ弁護士も紹介します。